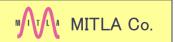
周産期医療の国内展開と海外への応用



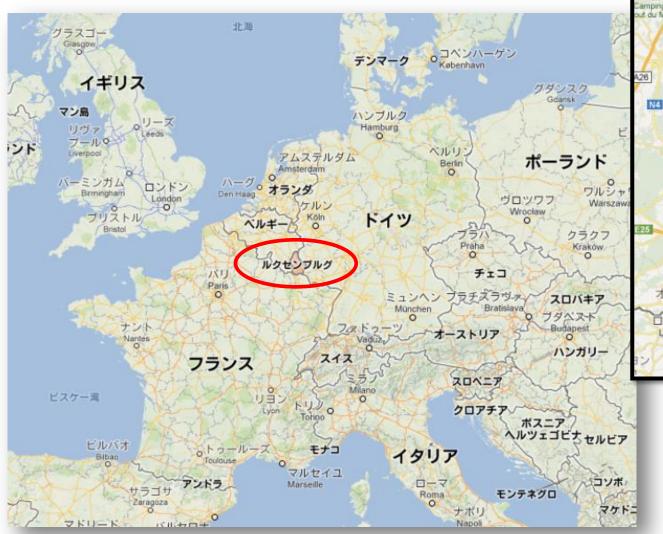
HELLO BABY PROGRAM

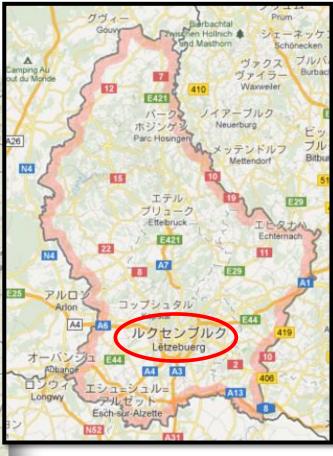
2013年4月26日 株式会社ミトラ



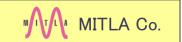


ルクセンブルク Med-e-Tel学会









沿革(香川県医療ITの歴史)

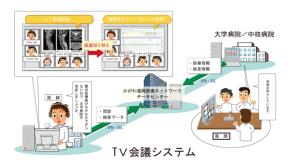
H10	周産期電子カルテネットワーク モデル事業	県事業
H11	香川医科大学との遠隔画像診断共同研究	香川医科大学
H12	香川県へ i D C モデルでの医療連携システム提案 (後の K-M I X)	県事業
	J G N (高精細動画伝送)	総務省
H13	四国4県電子カルテNW実証実験 かがわ遠隔医療NW 県単独予算確保	経済産業省 県事業
П14	治験システム開発研究(自主開発)	企業
H15	健康サービス産業創出事業 調査研究費	経済産業省
H16	連携融合プロジェクト(4年間) K-MIX	文部科学省
H17	「地域診療情報連携システムの標準化及び実証実験事業」 周産期電子カルテ・モバイル胎児心拍システムの統合	経済産業省
	マンモ遠隔モデル事業(5年間運用管理) K-MIX	厚生労働省
H18	K-MIXシステム K-MIX	県事業
H19	瀬戸内圏研究	県、大学
H20	地域診療情報連携推進事業 岩手県における周産期電子カルテネットワークの構築	厚生労働省
	健康情報活用基盤構築のための標準化及び実証事業	経済産業省
H21	地域 I C T 利用活動モデル構築事業 「電子カルテ機能統合型 T V 会議システム」による 遠隔医療ネットワーク構築事業	総務省
	戦略的大学連携	文部科学省
H22	糖尿病クリティカルパス連携システム	文部科学省
TIEE	社会保障カード(仮称)実証事業	厚生労働省









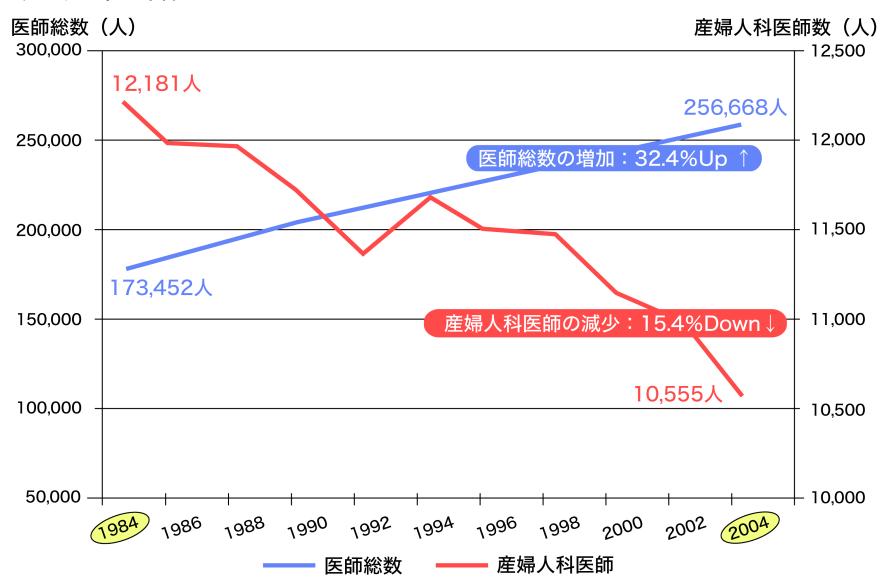




瀬戸内圏 • E H R



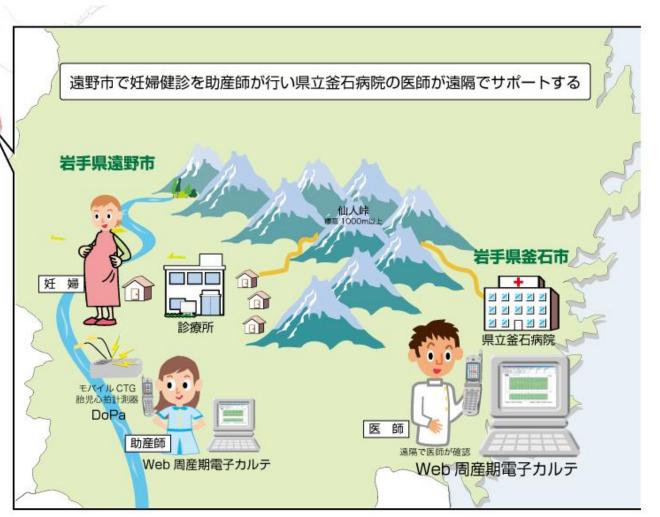
減少する産婦人科医





周産期医療情報ネットワーク

医師、助産師、家庭をむすぶ 周産期ネットワー



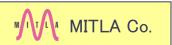
遠野市助産院ねっと・ゆりかご







県立釜石病院



周産期遠隔医療ネットワークコンテンツ

- 周産期電子カルテは妊婦さんと 胎児のための電子カルテです
- インターネットを通じて,他病院、他施設と情報を共有することができます

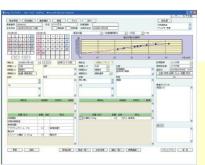




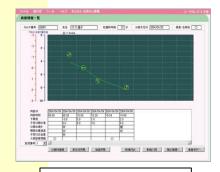
- 携帯の電波で自宅から胎児の心拍データ・母体の陣痛を送信す ることができます。
- 医師は携帯電話などでおなかの赤ちゃんのようすをグラフで参 照することができます。



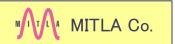
ハローベィビープログラム 周産期電子カルテ



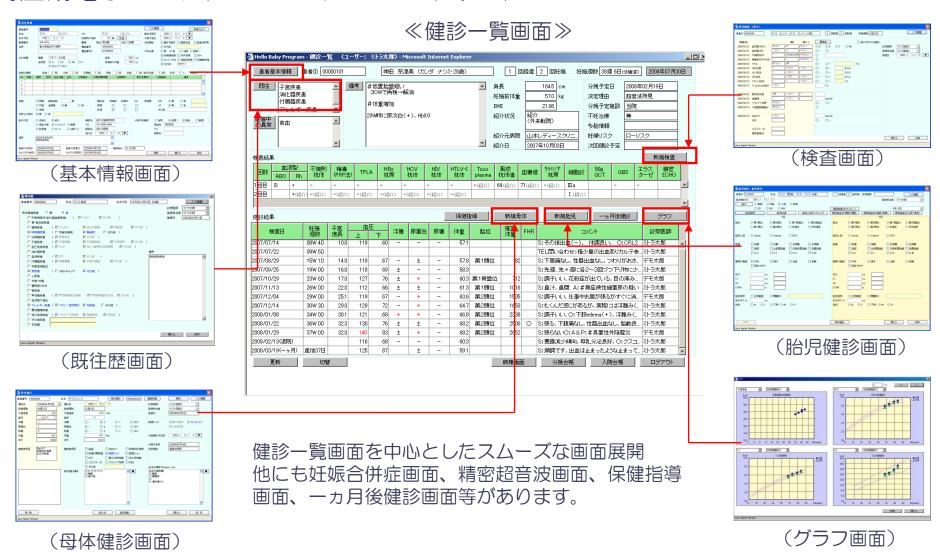
検診一覧画面

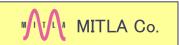


入院情報画面

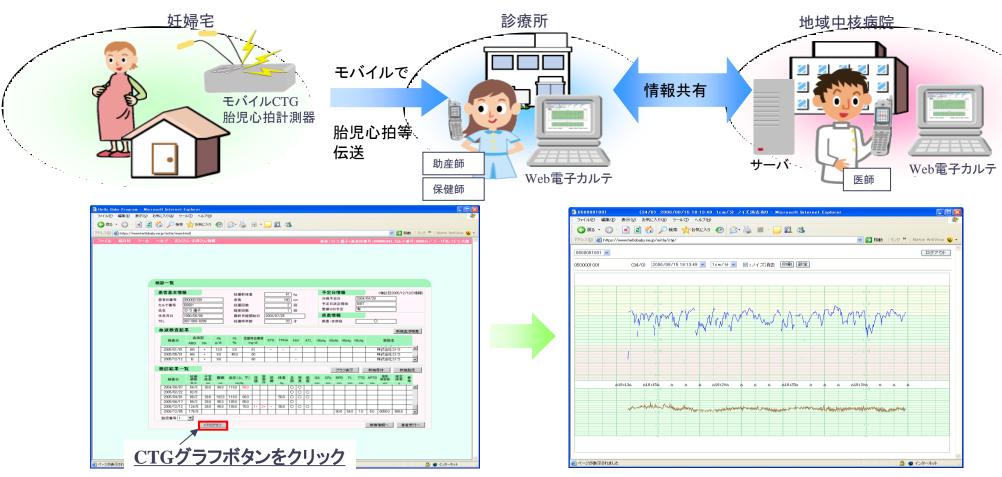


周産期電子カルテ(ハローベイビープログラム)





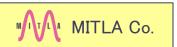
家庭や助産院と中核病院をつなぐ



Web版周産期電子カルテ画面

胎児心拍数グラフ画面

- ・表示されたグラフは、<u>時間軸の変更・ノイズ消去</u>が可能
- •印刷ボタンで<u>帳票出力</u>が可能

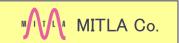


遠隔診療試行症例数

妊婦遠隔診療試行症例

年度	回数	利用者
平成18年平成19年平成20年	35回 99回 217回*	18人 35人 78人

*内訳:遠隔妊婦健診170件 陣痛などの状態観察が47件



IT技術でモバイルCIGで遠隔好場所

妊婦を見守る 負担軽減と不安解消

モバイル胎児心拍転送システムを活用

周産期センター

産科医療機関との連携



- 小型軽量で持ち運びできるモバイル胎児心拍転送装置(モバイル CTG) は、NTT FOMA通信網を用いて自宅や助産院から胎児心拍 数・母体 陣痛を送信することが可能。
- 医師は、インターネット回線でパソコンまたは携帯電話等で妊婦の計 測データを容易に診断することが可能。





遠野のモバイル遠隔健診紹介



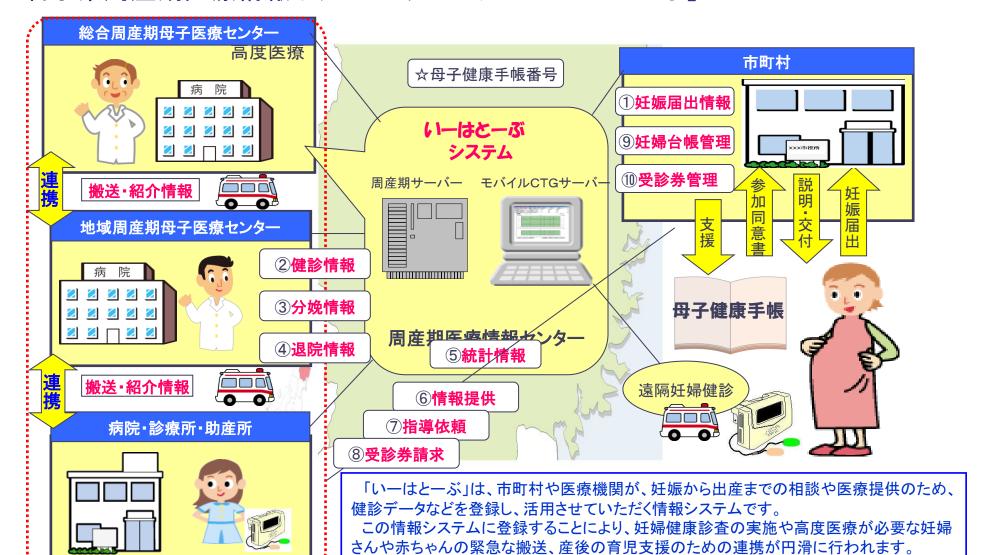
岩手県周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」



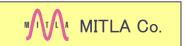
母子手帳番号を管理番号とした行政機関(市町村)と医療機関が利活用するセンターサーバー型医療情報データベースを厚労省事業として構築した。

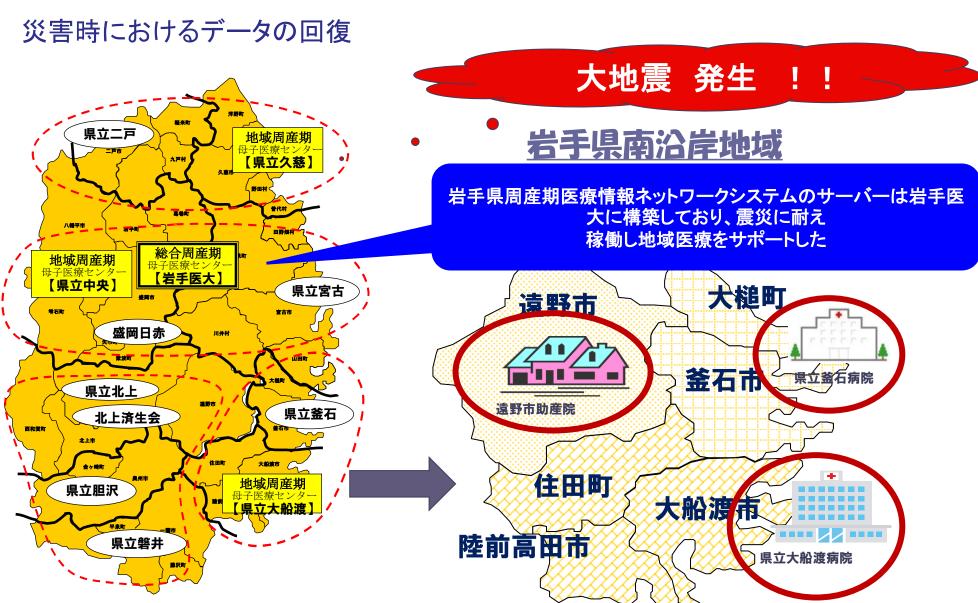


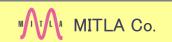
岩手県周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」



妊婦さんの同意のもとに行い、個人のプライバシーは十分に守られるものです。





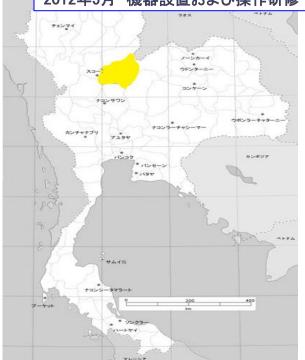


タイへの導入

タイの中北部に位置する地方都市ピサヌロークで事業を行う。 ピサヌロークのナレスワン大学の要請により、プタチナラ中核 病院が地方に位置するチャタカン診療所およびバンクラン診 療所と遠隔妊婦健診を行えるようモバイルCTGの導入行った。

<これまでのタイ訪問> 2012年2月 モバイルCTGおよび周産期管理システム ハローベイビープログラムのデモンストレーション

2012年5月 機器設置および操作研修



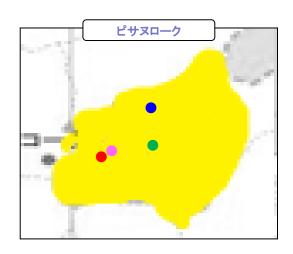




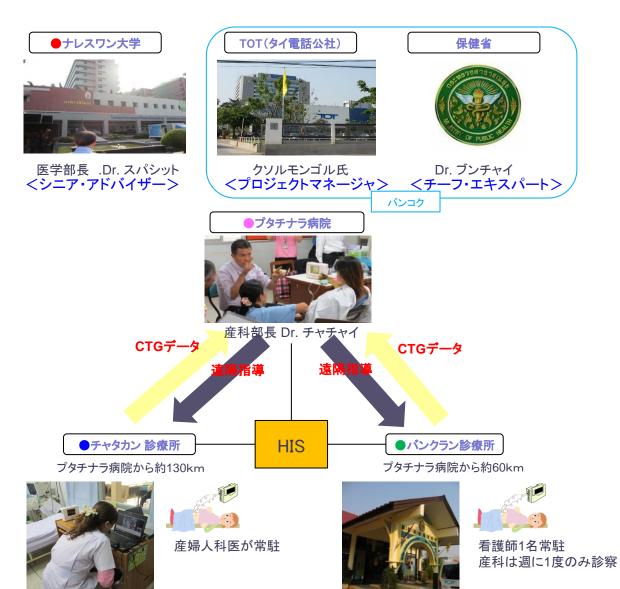
- ・ ナレスワン大学のITチームが3病院からアクセス可能なHIS (健康情報システム)を構築。
- チャタカン診療所およびバンクラン診療所にモバイルCTGを1 台ずつ設置。
- ・ HISに3病院の患者の検査結果が保存される。
- ・ モバイルCTGで計測したデータのグラフは、患者ごとにPDFファイルやリンクの形でHISに保存可能。
- ・ 遠隔コンサルティングの際にHISのデータを閲覧しながら相談できる。

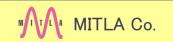


ピサヌロークの事例



- チャタカン診療所およびバンクラン診療所の患者のデータはプタチナラ病院の先生のPC・携帯にリアルタイムで送信される。
- チャタカン診療所の産婦人科医 およびバンクラン診療所の看護 師はハイリスク患者の場合や 必要に応じてプタチナラ病院の 先生にデータを見てもらいなが ら遠隔で相談ができる。





タイでの操作研修

周産期医療では、妊娠週数等の時々に応じて妊産婦と胎児に対して 時系列に適切な診療を行うことが必要です。

- ASP版周産期管理システム (ハローベイビープログラム)を導入
- モバイルCTG現地導入、 CTGサーバーシステム日本国内構築





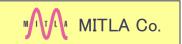






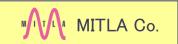






まとめ

- より良い周産期管理を行っていくには、データの統合化が必須である
- ・ 周産期管理システムで蓄積された情報により、地域単位で妊婦さんの健康管理を行うことができる
- 実証実験を通して、海外でも病院・診療所・助産所・患者宅を繋ぐネットワークの需要が今後も増え続けることがわかった
- 医療分野におけるIT技術やスマートフォンは今後も進化し続ける。 また、タブレットで個人の健康管理をしていくようになる。



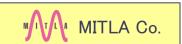
18th ISfTeH International Conference - Japan

第 1 8 国際遠隔医療学会 JTTA 2013 TAKAMATSU

日本遠隔医療学会学術大会2013高松







ご清聴ありがとうございました。